

《勤労留学受け入れに対して》

### 「満留賀」さんに感謝状

2年生が行っている「勤労留学」で毎年お世話になっている、そば処「満留賀」さんのご主人に、東京都青少年治安対策本部「中学生の職場体験」推進協議会から、感謝状が贈られました。勤労留学受け入れによる青少年育成に対する長年の功績に対し、南千住二中から荒川区に、そして荒川区が東京都に推薦し、認められたものです。毎年大変にお世話になり、ありがとうございます。これからもよろしく願います。



# 絆

きずな

平成26年3月  
第39号  
荒川区立南千住第二中学校  
校長 齊藤 進

### 部活動の活躍

### パソコン部、多くの級取得者

パソコン部【第13回毎日パソコン入力コンクール冬季大会】

< 第5部和文A中学生 >

2級 3年生男子1名、2年生女子3名 準2級 2年生男子3名 女子1名  
3級 2年生男子1名、女子1名、1年生男子1名 5級 1年生男子1名  
7級 1年生男子1名 8級 2年生女子1名

< 第2部ローマ字 >

3級 1年生男子1名 4級 2年生男子1名

おめでとうございます。



## 人生は運命か選択か

～ プラス思考で行動しよう ～

校長 齊藤 進



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業にあたり皆さんにメッセージを贈ります。

皆さんは、人生とは運命だと思いますか、それとも選択だと思いますか。自分が生まれたことも育った環境もあらかじめ決められていること、すなわち運命であるか、それとも、家を選んで生まれたわけではないが、人生は自分の意思でひとつひとつのことを決めていく、すなわち人生は選択であるか、という問いです。さて、どちらを選びますか。

この問いに正解はありません。しかし、実際の生活では、今日着ていく洋服は何かしようかや、何を食べようかなど、ひとつひとつ自分の意思で決めているのです。運命だとすると、こうなったのは運命だから仕方がない、などとあきらめたり投げやりになったりと、なかなかプラス思考で考えることができません。ぜひ、人生は選択であると思ってください。

最後に、つぎの言葉を贈ります。「やるべきかやらざるべきか、迷ったら《やる》」を選択してください。もちろん、はじめからやらないほうを選択したら、やらなくて結構です。もし、迷ったら《やる》を選択してください。結果はどうあれ自分の意思で決めたことで自信が身につく、人生を前向きに捉えようとプラス思考で生きることができるからです。もう一度言います。「やるべきかやらざるべきか、迷ったら《やる》」。プラス思考で生き抜こう。

3月8日(土)に地域清掃を行いました。保護者の皆様にもご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 南千住マイスターのコーナー

南千住・隅田川には、これまで紹介してきた以外にも、昔から伝わる「牧野の大蛇」や「おいてけ堀」の伝説、新しい妖怪「カベズリ崩し」「汐入のヒキスリダコ」「水神大橋の大蛇」など、まだまだたくさん妖怪が棲みついています。是非調べてみてください。  
今回で「すみだ川妖怪絵巻」は最終回ですが、来年度もこの「南千住マイスターのコーナー」は引き続き掲載予定です。お楽しみに。

南千住にカッパはいるか？  
「カッパは誰でも知る妖怪の代表ともいえる存在です。日本各地にはたくさんカッパ伝説が残っています。ところが、これだけメジャーな存在であるにもかかわらず、隅田川のカッパ伝説は語り継がれていません。これまで紹介してきたように、隅田川には「片目の大鯰」や「千住大橋の大蛇」、「ガワウソ狩り」など、たくさん伝承があるにもかかわらず、カッパの言い伝えがないのは、ある意味不自然ともいえます。  
南千住二中の文化祭である「霜月祭」では、2年生の劇で「赤いカッパ」と「養わらじ」が登場し、劇のナビゲーターを務めていました。そのラストシーンの中で、こんな台詞がありました。(カッパ「オレは昔から隅田川にいたのに、まだ発見されていないんだよ。」「養わらじ」「ねえ皆さん、はやく南千住のカッパ見つけてやってください。」。南千住に赤いカッパがいたかどうかは定かではありません。しかし、歌に歌われるような有名な隅田川には、きっとカッパ伝説があったのではないのでしょうか。是非調査をし、カッパ伝説を語り継ぎたいものです。

### すみだ川妖怪絵巻 最終回 隅田川のカッパ



協力；  
NPO法人  
千住すみだ川

もうすぐ卒業式。3年生は卒業期を迎え、中学校生活の締めくくりとして、さまざまな行事が行われています。

## ようこそ青年海外協力隊



民族衣装を着て話していただきました

3月3日(月)5,6校時は、「ようこそ青年海外協力隊」が行われました。青年海外協力隊の隊員として、ベナン共和国で理数系の教師として実際に活動されていた隊員の方にご来校いただき、生きたお話をお聞きすることができました。国際協力に心血を注ぐことの尊さや、恵まれない環境だからこそ一生懸命に学ぶ現地の子どもたちのたくましい姿のお話に心を打たれました。北見さんありがとうございました。

## 性教育講演会

3月10日(月)5,6校時は、「性教育講演会」でした。この会では、多くの著書もお出しになっている、厚木病院泌尿器科のお医者さんにお話をうかがいました。義務教育を終え、社会の一員として、また、人としての責任も重くなるこの時期に、「性」について真剣に考え、正しい知識を学ぶ良い機会になりました。岩室先生ありがとうございました。



先生のお話真剣に聞き入る

## 校外学習inTDL

3月11日(火)は校外学習として東京ディズニーランドに出かけました。中学校生活最後の校外学習でした。準備やしおりづくりも全て自分たちで行いました。



行動中も自分たちで考え、マナーを守り、仲間の絆を確かめ合いながら、中学校生活最後の楽しい思い出で作りができました。



3年生はこれら以外にも、奉仕活動、映画の鑑賞会や卒業前の楽しい学年レクリエーション、3年間の思い出を振り返るスライド上映会なども行いました。また一方で、緊張感のある卒業式の練習にもしっかり取り組んでいます。

## 生徒会企画 3年生を送る会

3月17日(月)の生徒会朝礼は、生徒会本部が中心となって企画した「3年生を送る会」を行いました。会の中では、在校生の歌「手紙」や3年生の思い出を表現した寸劇、在校生全員で書いたメッセージボードなどが披露されました。また、会の始めには生徒会長が在校生を代表して感謝の言葉を、終わりには3年生の前生徒会長からお礼の言葉が述べられ、心がこもった素晴らしい会になりました。



## 地域清掃

3月8日(土)の学校公開日には全校で「地域清掃」を行いました。この地域清掃は、南千住二中が全校加盟をしているJRC (Junior Red Cross = 青少年赤十字)の活動の一環として毎年行われているものです。今年度は5月につづいて2回目の実施です。



JRC委員長のことは

今回は2校時目の授業終了後、全校生徒が校庭に集合し、出発式を行いました。出発式ではJRC委員長が、地域清掃の主旨を説明し、積極的な活動と呼びかけました。その後、JRC委員会が中心となって準備をした清掃道具を手に、クラスごとの担当箇所に出発しました。

5月に行ったときと同様、一見きれいに見える南千住の街も、道端の植え込みやちょっとした空き地にはたくさんのゴミが落ちていました。やはり投げ捨てられたタバコの吸い殻も多く、何とかならないものかと考えさせられました。また、空き缶などもたくさん落ちていました。

全校生徒によって集められたゴミは、90%のゴミ袋に約10袋分にもなりました。これらのゴミもJRC委員が中心となって分別されました。



集められたたくさんのゴミ

地域清掃には保護者の方も参加してくれました。また、学校にはお見えになれなかった保護者や地域の方も、清掃箇所ですぐに出発して、声をかけてくださったり、生徒と一緒に活動して下さった方もありました。ご協力ありがとうございました。



植え込みの中も



小さなゴミも見逃さない



集めたゴミはしっかり分別

1年生

## 人形浄瑠璃鑑賞教室

3月14日(金)、人形浄瑠璃鑑賞教室が行われ、南千住二中は1年生が参加しました。人形浄瑠璃は文楽座がその伝統を受け継いできたため、別名「文楽」ともいわれる日本の伝統文学です。1年生は、朝、事前指導を受け、班ごとに出発し、サンパール荒川大ホールに向かいました。

演目は「日高川入相花王」で、伝統の音楽と人形の繊細な動きに魅了されました。鑑賞態度も大変立派で、しっかり学習できました。日本の伝統といっても、なかなか見る機会の少ない人形浄瑠璃を生で見る大変良い機会を与えていただきました。

